



Tokyo Century

その他金融 8439

## IoTデータを活用した「新たな課金サービス体系」の構築と、 「スマホアプリ・ビッグデータ・AI」を活用した金融サービスの提供

東京センチュリーは、戦略的なIT利活用を重要な経営課題と捉え、「攻めのIT経営」を推進するための社内体制・基盤を強化しています。

具体的な成果として、ピープラッツ株式会社（「モノ」の利用量・利用時間等に応じて従量課金する形態である「サブスクリプション」の開発・提供企業）と協業し、IoTデータを活用した定額課金や利用・時間単位での従量課金など「新たな課金サービス体系」を構築。売切りからサービス提供までの幅広いビジネスモデルを指向される当社のお客さま（メーカー・販売会社等）と連携し、先進的なビジネスモデルの創出に注力しています。

加えて、銀行カード連合組織中国銀聯股份有限公司の子会社で中国最大手のカード決済サービス企業である銀聯商務有限公司（以下、銀聯商務）と協業。銀聯商務が保有するポータルサイト加盟店（768万社）のPOS端末から提供される過去の取引実績情報をもとにビッグデータ・AIを活用し、加盟店ごとの与信審査を自動化。スマホアプリを活用した、加盟店向けリースサービスの展開を推進しております。

当社は、「攻めのIT経営銘柄」が創設された2015年度から4年連続で選定されております。これからも産業構造やビジネスモデルの急速な変化に機敏に対応し、ITの利活用を通じた新たな価値創造とお客さまの更なる利便性向上に貢献してまいります。



IoTを活用したロボット（イメージ）



スマホアプリを活用したリースサービス（イメージ）